



2007年3月期 第3四半期 決算概要

2007年1月25日
NECエレクトロニクス株式会社

<http://www.necel.com/ir/ja/>

(将来予測に関する注意)

本資料に記載されている当社および連結子会社(以下NECエレクトロニクスと総称します。)の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、(1)NECエレクトロニクスの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2)市場におけるNECエレクトロニクスの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてNECエレクトロニクスが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4)為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

I . 2007年3月期 第3四半期業績概要

- ✓半導体売上高は当初想定通りだったが、営業損益は製品ミックスの変化等により当初想定よりも悪化

II . 2007年3月期業績見通しと 損益改善に向けた取り組み

- ✓第4四半期は、LCDパネルやコンピュータ周辺関連の調整等の影響を受け、売上・GP(粗利益)の計画未達等により、第3四半期比で業績悪化の見込
- ✓構造改革プラン・成長戦略を2月22日に発表予定であり、同構造改革関連費用を精査中であること等から、現時点では、今年度の「連結業績予想」を据置く

I . 2007年3月期 第3四半期業績概要

II . 2007年3月期業績見通しと 損益改善に向けた取り組み

業績サマリ

(億円)	06/3期		07/3期			
	3Q, 12/31	9ヶ月累計	3Q, 12/31		9ヶ月累計	
	実績	実績	実績	前年同期比	実績	前年同期比
売 上 高	1,627	4,756	1,779	+152	5,209	+453
半導体売上高	1,568	4,571	1,711	+144	4,989	+418
営業損益	△70	△192	△38	+32	△108	+84
税前提損益	△44	△181	△35	+9	△91	+90
当期純損益	△26	△104	△58	△32	△131	△27

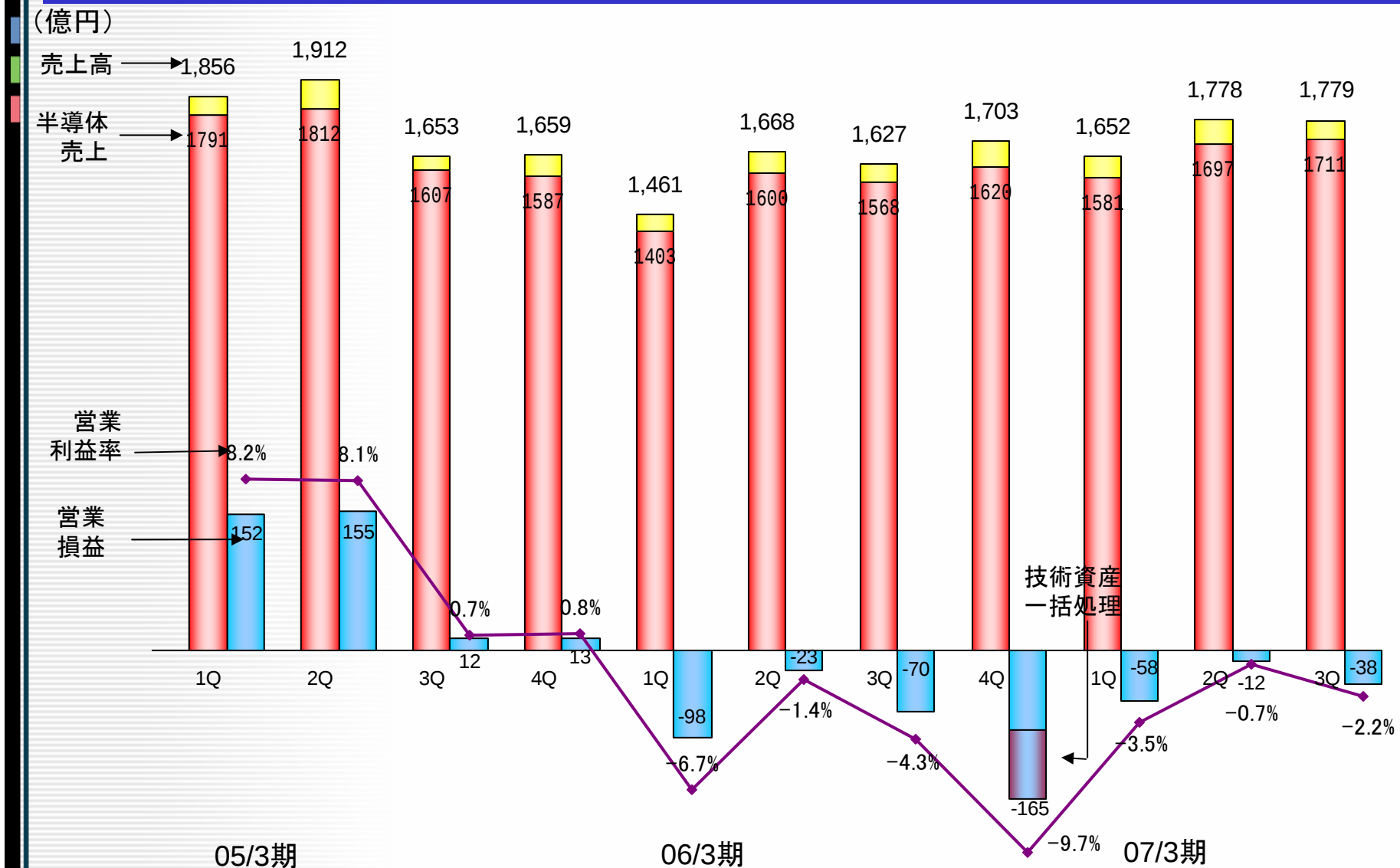
フリーキャッシュフロー	345	150	△76	△421	58	△91
-------------	-----	-----	-----	------	----	-----

D/Eレシオ	0.40倍	-	0.49倍	-	-	-
株主資本比率	48%	-	39%	-	-	-

為替レート	1US\$=115円 1Euro=138円	1US\$=111円 1Euro=137円	1US\$=118円 1Euro=150円	-	1US\$=116円 1Euro=146円	-
-------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	---	--------------------------	---

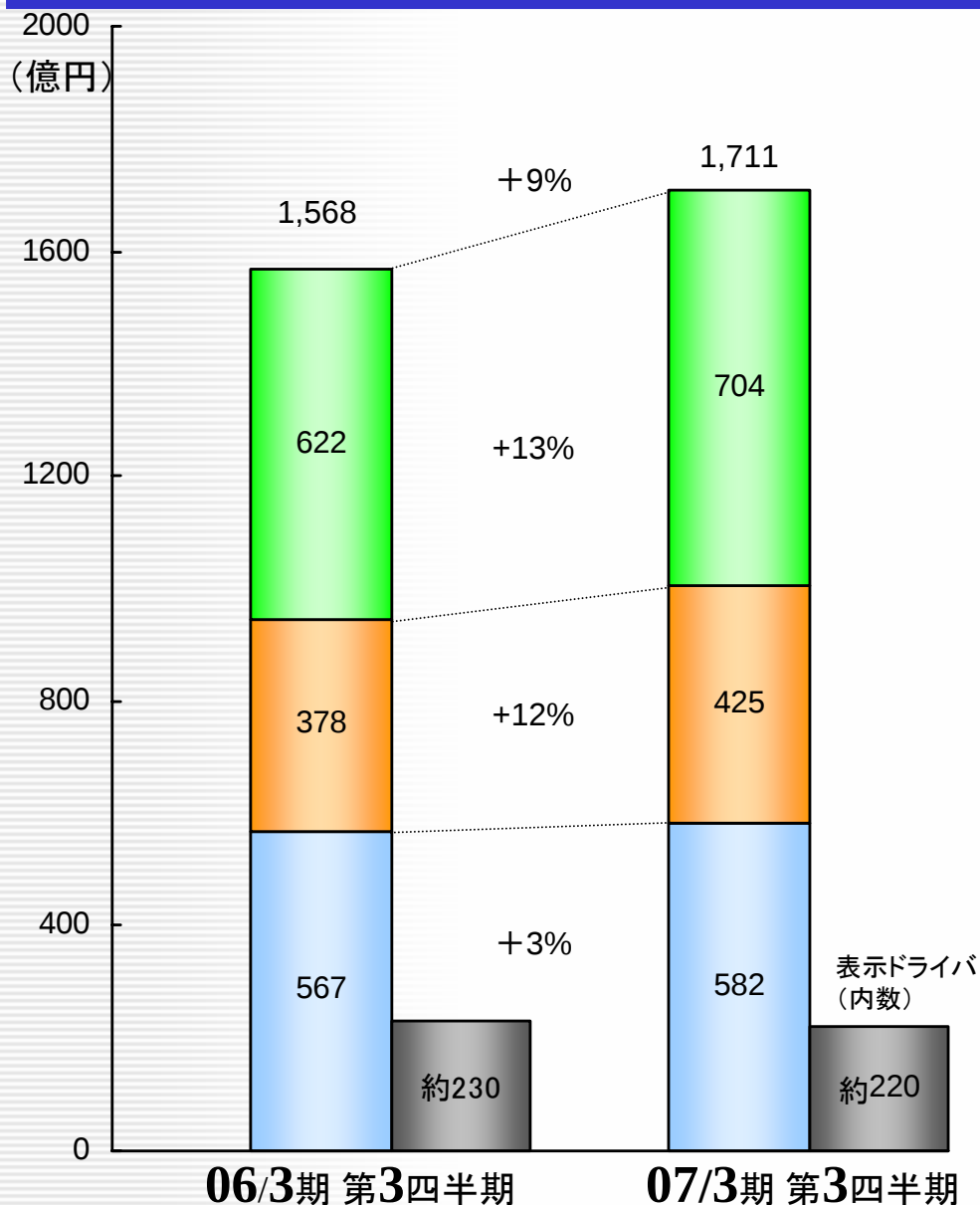
注1: 当社は米国会計基準を採用しておりますが、「営業損益」は売上高から売上原価、研究開発費、販売費および一般管理費を差し引いたものです。

四半期別業績推移



注: 当社は米国会計基準を採用しておりますが、「営業損益」は売上高から売上原価、研究開発費、販売費および一般管理費を差し引いたものです。

製品別 半導体売上比較(前年同期比較) NEC



SoCプラットフォーム

- +) 新規ゲーム機器向けLSI出荷開始による売上増
-) プリンタ向けLSIの売上減
-) 携帯電話向けメモリの売上減

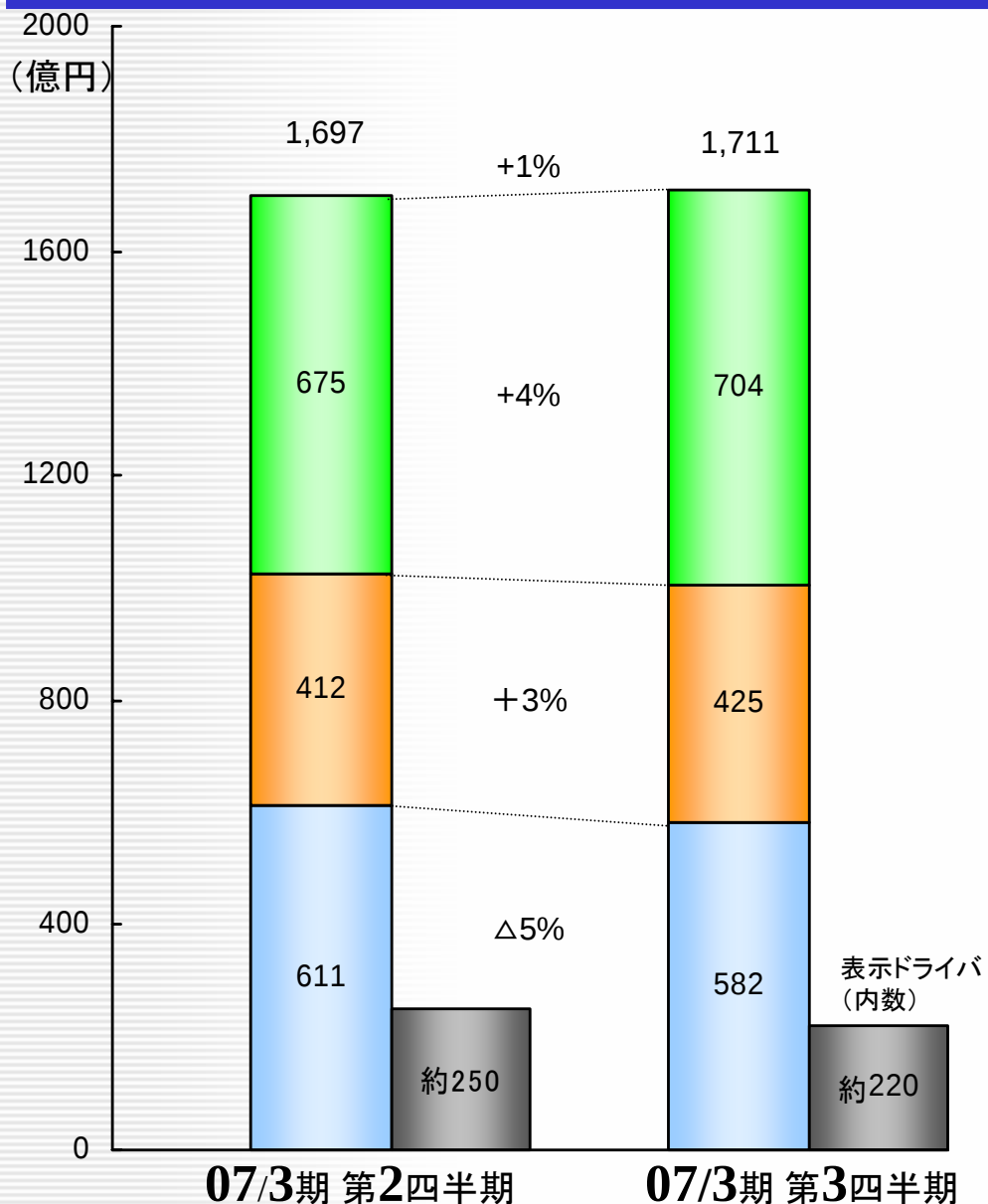
MCUプラットフォーム

- +) 自動車向け売上増
- +) オールフラッシュマイコンの拡大

個別半導体

- +) ディスクリット・化合物の売上増
- +) 表示ドライバは大型が売上増、小型・PDPが売上減

製品別 半導体売上比較（前期比較）



SoCプラットフォーム

- +) ゲーム機器向け本格出荷
- +) 国内携帯電話向けデジタルベースバンドLSIの出荷増
-) プリンタ用LSIの出荷減

MCUプラットフォーム

- +) 自動車向け売上増
-) 汎用マイコンの調整

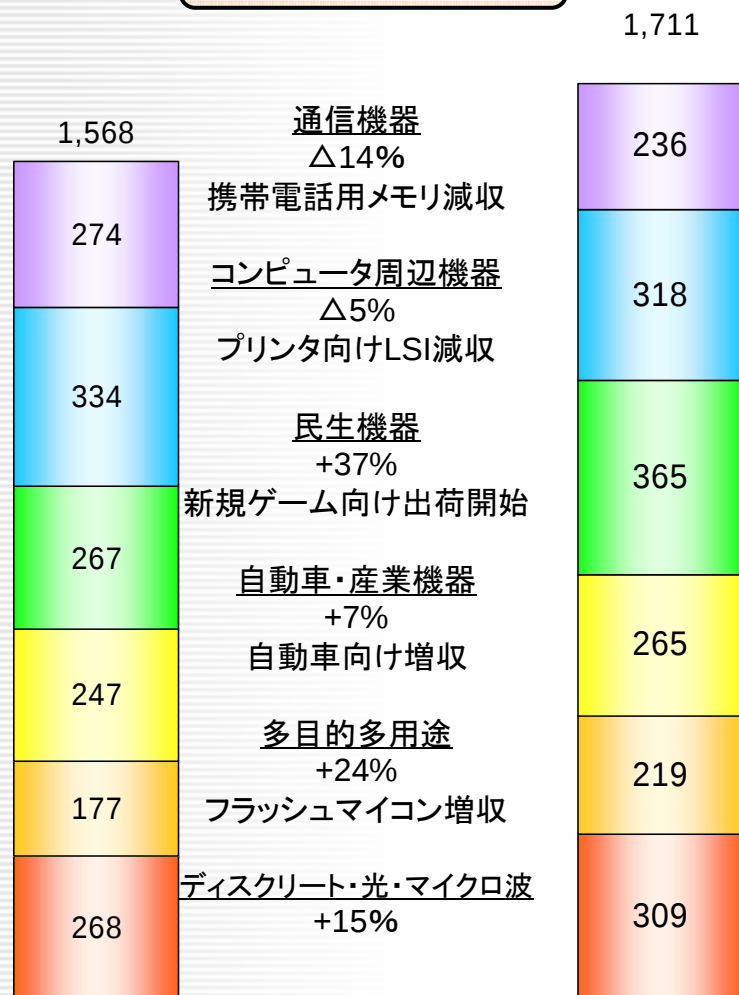
個別半導体

- +) ディスクリット・化合物は横這い
- +) 大型LCDドライバの増収
-) 小型表示ドライバの在庫調整による減収

分野別 半導体売上比較

(億円)

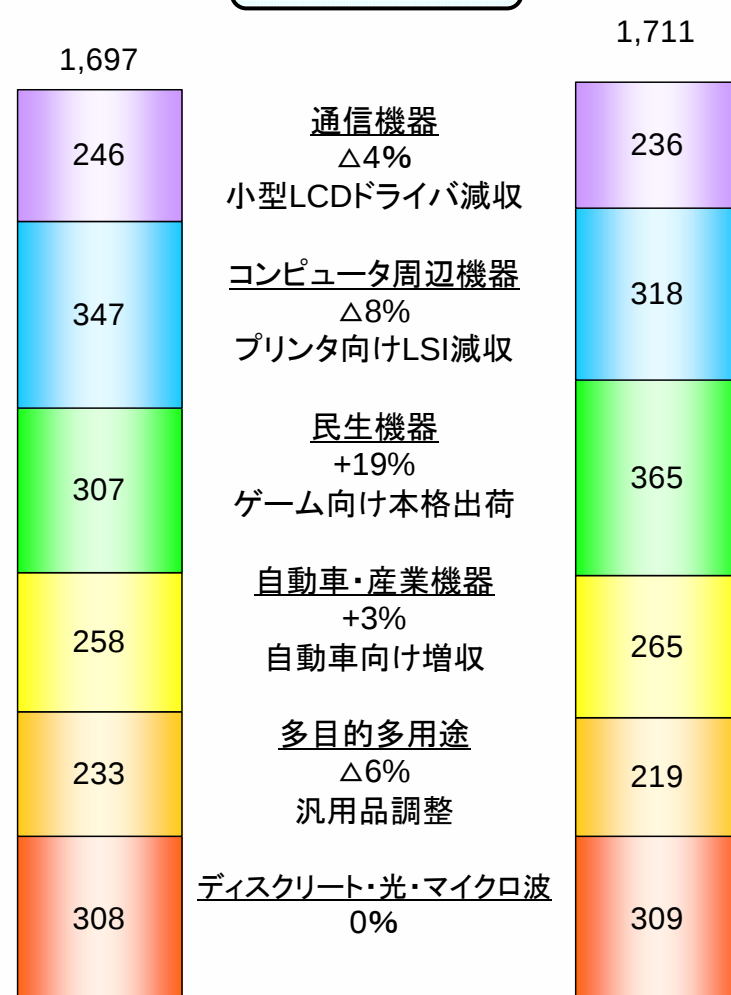
前年同期比較



06/3期 第3四半期

07/3期 第3四半期

前期比較



07/3期 第2四半期

07/3期 第3四半期

営業損益の主な増減要因

前年同期比較

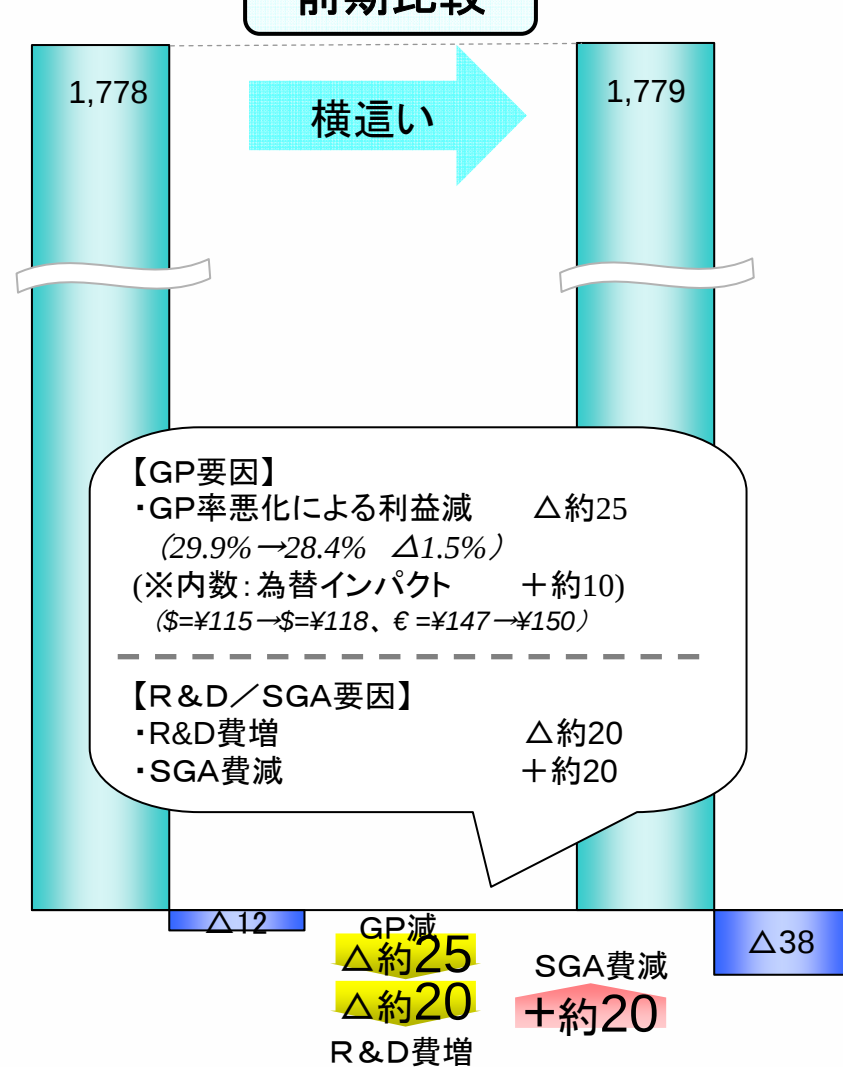


06/3期 第3四半期

07/3期 第3四半期

NEC ELECTRONICS

前期比較



07/3期 第2四半期

07/3期 第3四半期

バランスシート

(単位: 億円)		05/12	06/9	06/12
	現金および現金同等物	2,369	2,220	2,126
	受取手形および売掛金	996	1,167	1,051
	たな卸資産	776	831	890
	有形固定資産	3,060	3,059	3,057
	その他の資産	904	494	393
総資産		8,104	7,770	7,517
	支払手形および買掛金	1,283	1,692	1,507
	社債および借入金	1,539	1,460	1,447
	その他の負債	1,357	1,595	1,570
負債		4,179	4,748	4,524
少数株主持分		40	42	46
株主資本		3,886	2,980	2,948
負債および資本合計		8,104	7,770	7,517
D/Eレシオ (グロス)		0.40倍	0.49倍	0.49倍
株主資本比率		48%	38%	39%
繰延税金資産 (NET)*		549	10	2

注記: 上記繰延税金資産は、繰延税金資産と繰延税金負債NETして表示しております。

キャッシュ・フロー

(単位:億円)	06/3期		07/3期		
	3Q	9ヶ月累計	2Q	3Q	9ヶ月累計
営業活動により増加した キャッシュ・フロー	358	504	268	195	541
投資活動により減少した キャッシュ・フロー	△13	△355	△87	△271	△482
フリー・キャッシュ・フロー	345	150	181	△76	58

I . 2007年3月期 第3四半期業績概要

II . 2007年3月期業績見通しと 損益改善に向けた取り組み

今年度の業績予想について

2007年3月期第4四半期の業績が第3四半期よりも悪化するものと見込んでおり、この事態に対処するため、現在、中期的な業績回復に向けた構造改革プランを検討中。

これにより計上すべき損失・費用については現在精査中であり、その金額が確定した時点で、必要に応じその影響につき開示を行う予定。

前回の業績予想 (単位:億円)	06/3期 年間	07/3期		
		上期	下期	年間
	実績	実績	予想	予想
売上高	6,460	3,430	約3,500	6,950
営業損益	△357	△69	0 *	△70 *
税前提損益	△424	△56	△約134 *	△190 *
当期純損益	△982	△74	△約176 *	△250 *

為替レート

1US\$=	112円	115円	115円 3Q実績118円	
1Euro=	138円	145円	145円 3Q実績150円	

注1:当社は米国会計基準を採用しておりますが、「営業損益」は売上高から売上原価、研究開発費、販売費および一般管理費を差し引いたものです

注2:予想値は2006年10月25日に公表した数値です

第4四半期の営業損益悪化の理由

- 半導体売上高の減少

第4四半期の半導体売上高は第3四半期に比べて、減少の見込み

SoC：コンピュータ周辺向けの調整による売上減少

表示ドライバ：パネルメーカーの生産調整と価格低下による減少

- 生産調整(工場稼働の低下)

足元での需要減速と、12月末棚卸資産が高水準にあることから、生産調整を実施

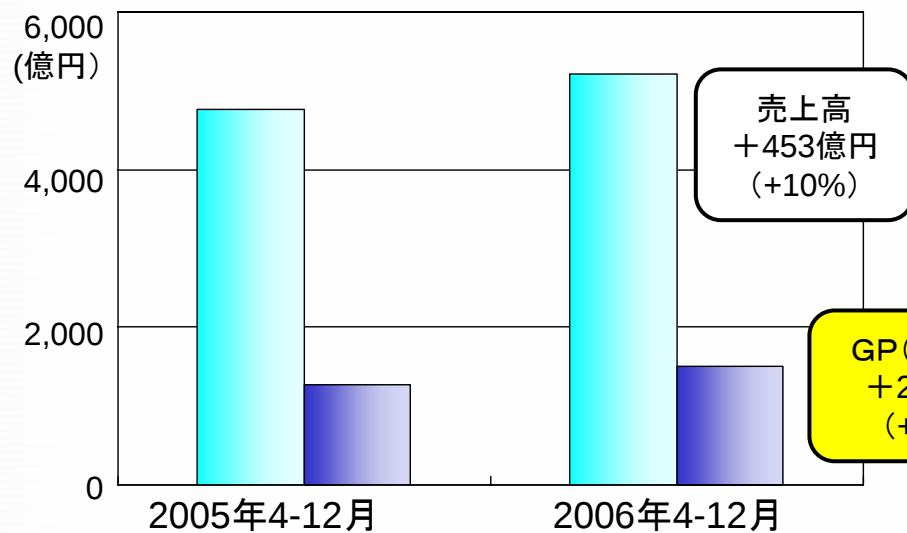
	第3四半期	第4四半期
工場稼働率	9割強	約8割

- 一時的な費用増を伴う構造改革の検討着手

内容精査中であり2月22日に説明予定

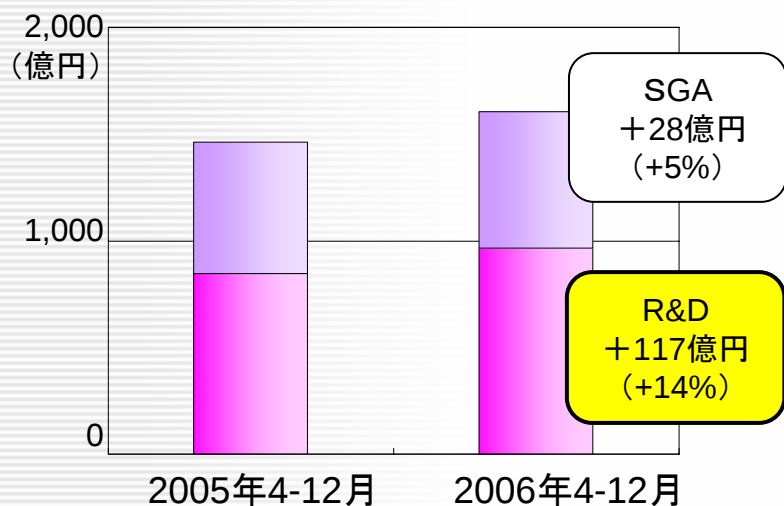
従来の売上拡大施策の成果と先行投資の状況

■ 売上高とGP (粗利益)の拡大

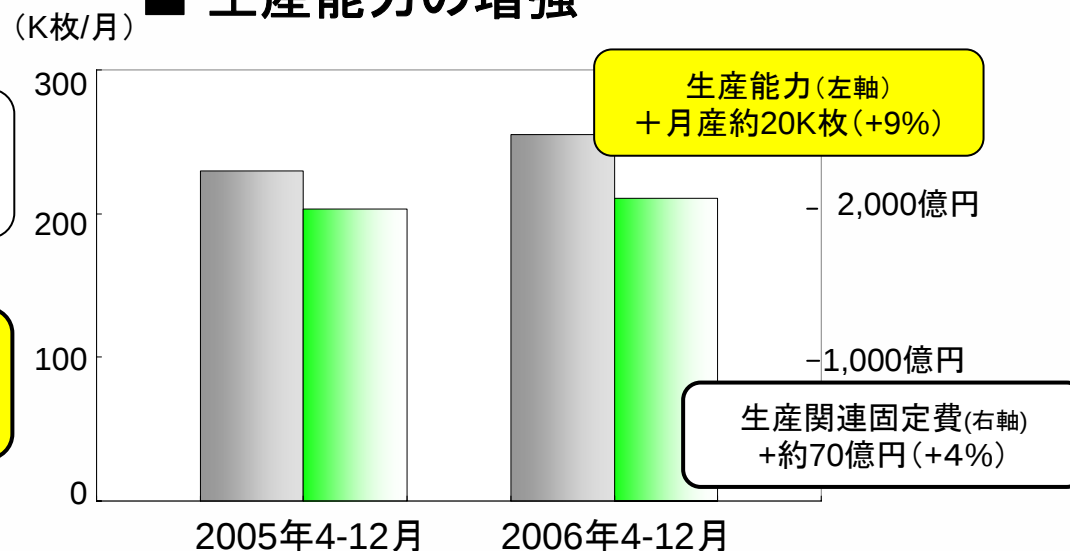


2005年4-12月期
と2006年4-12月期
の比較

■ R&Dと販管費の投入拡大



■ 生産能力の増強



成長戦略と構造改革の基本的な考え方 **NEC**

具体施策については
2月22日に発表予定

1. 売上の再拡大

製品開発競争力の強化、など

～ 注力製品を明確化し、製品ポートフォリオの再構築

2. コスト競争力強化と費用効率化

生産体制の見直し ～成熟製品群の海外生産シフトの加速、など

設備投資とR&D費の効率化推進、など

- ✓ 日時 : 2月22日(木)
- ✓ 場所 : 別途ご案内
- ✓ 当社説明者 : NECエレクトロニクス株式会社
代表取締役社長 中島俊雄